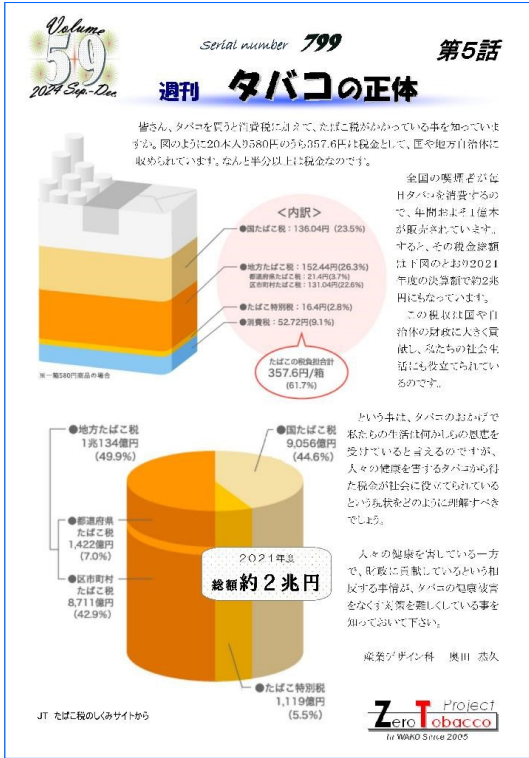


【週刊タバコの正体】

Vol.59 第1話～第4話

2024年10月

和歌山工業高校 奥田恭久



■Vol. 59

(No. 799) 第5話 相反する事情

一人々の健康を害するけれど、その税金が国や自治体に財政貢献...

皆さん、タバコを買うと消費税に加えて、たばこ税がかかっている事を知っていますか。図のように20本入り880円のうち357.6円は税金として、国や地方自治体に収められています。なんと半分以上は税金なのです。

全国の喫煙者が毎日タバコを消費するので、年間およそ1億本が販売されています。すると、その税金総額は下図のとおり2021年度の決算額で約2兆円にもなっています。

この税金は国や自治体の財政に大きく貢献し、私たちの社会生活にも役立てられているのです。

という事は、タバコのおかげで私たちの生活は何かしらの恩恵を受けていると言えるのですが、人々の健康を害するタバコから得た税金が社会に役立てられているという現状をどのように理解すべきでしょう。

人々の健康を害している一方で、財政に貢献しているという相反する事情が、タバコの健康被害をなくす対策を難しくしている事を知っておいて下さい。

■Vol. 59

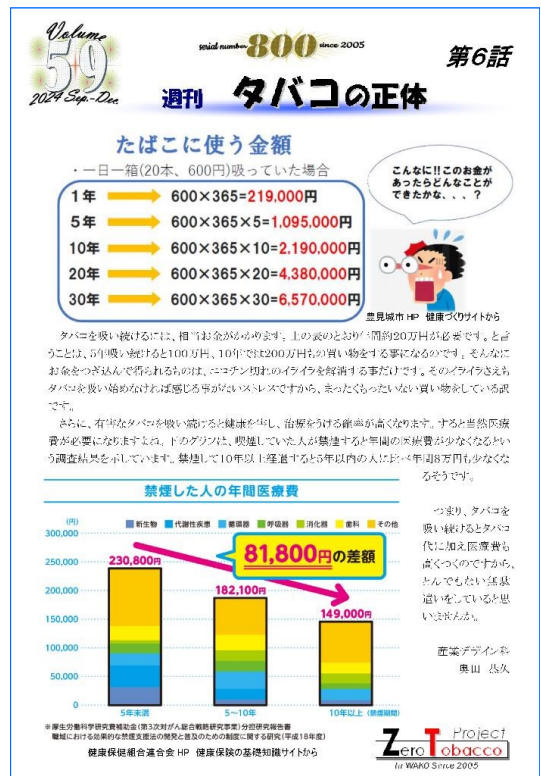
(No. 800) 第6話 とんでもない無駄遣い

タバコを吸い続けるとタバコ代に加え医療費も高く...

タバコを吸い続けるには、相当お金がかかります。上の表のとおり年間約20万円が必要です。と言うことは、5年吸い続けると100万円、10年では200万円もの買い物をする事になるのです。そんなにお金をつぎ込んで得られるものは、ニコチン切れのイライラを解消する事だけです。そのイライラさえもタバコを吸い始めなければ感じる事がないストレスですから、まったくもったいない買い物をしている訳です。

さらに、有害なタバコを吸い続けると健康を害し、治療を受ける確率が高くなります。すると当然医療費が必要になりますよね。下のグラフは、喫煙していた人が禁煙すると年間の医療費が少なくなるという調査結果を示しています。禁煙して10年以上経過すると5年以内の人に比べ年間8万円も少なくなるそうです。

つまり、タバコを吸い続けるとタバコ代に加え医療費も高くつくのですから、とんでもない無駄遣いをしていると思いませんか。



■Vol. 59

(No. 801) 第7話 私には関係ない

ータバコを吸わないのに喫煙者の医療費を負担?..

有害なタバコを吸い続けると健康を害し何らかの治療を受ける確率が高くなります。喫煙者自身のみならず、その煙を吸わされる受動喫煙を受けた人たちも同様に治療を受ける確率が高くなります。すると左図に示すように、その医療費は両者あわせて1兆6900億円にもなるのです。

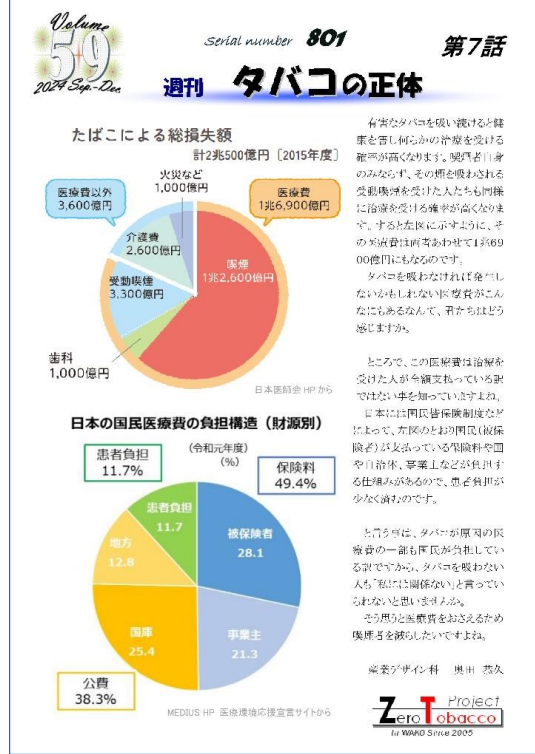
タバコを吸わなければ発生しないかもしれない医療費がこんなにもあるなんて、君たちはどう感じますか。

ところで、この医療費は治療を受けた人が全額支払っている訳ではない事を知っていますよね。

日本には国民皆保険制度などによって、左図のとおり国民(被保険者)が支払っている保険料や国や自治体、事業主などが負担する仕組みがあるので、患者負担が少なく済むのです。

と言う事は、タバコが原因の医療費の一部も国民が負担している訳ですから、タバコを吸わない人も「私には関係ない」と言っていられないと思いませんか。

そう思うと医療費をおさえるため喫煙者を減らしたいですよね。



■Vol. 59

(No. 802) 第8話 病欠リスク

ー喫煙者の病気療養による欠勤は非喫煙者より多い...

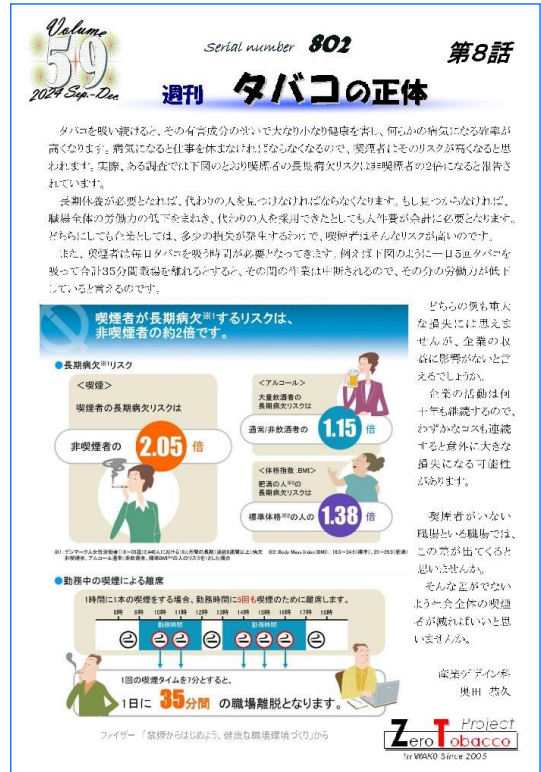
タバコを吸い続けると、その有害成分のせいで大なり小なり健康を害し、何らかの病気になる確率が高くなります。病気になると仕事を休まなければならないので、喫煙者はそのリスクが高くなると思われま。実際、ある調査では下図のとおり喫煙者の長期病欠リスクは非喫煙者の2倍になると報告されています。

長期休養が必要となれば、代わりの人を見つけなければならないになります。もし見つからなければ、職場全体の労働力の低下をまねき、代わりの人を採用できたとしても人件費が余計に必要となります。どちらにしても企業としては、多少の損失が発生するわけで、喫煙者はそんなリスクが高いのです。

また、喫煙者は毎日タバコを吸う時間が必要となってきます。例えば下図のように一日5回タバコを吸って合計35分間職場を離れるとすると、その間の作業は中断されるので、その分の労働力が低下していると言えるのです。

どちらの例も重大な損失には思えませんが、企業の収益に影響がないと言えるでしょうか。

企業の活動は何十年も継続するので、わずかなロスも連続すると意外に大きな損失になる可能性があります...



毎週火曜日発行



URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



「週刊タバコの正体」 800号発行

2024年10月8日

奥田 恭久

「週刊タバコの正体」は、このたび通算800号を発行することができ、2005年4月の創刊から数えて来年3月末で満20歳を迎えようとしています。これほど長く続ける事になるとは思ってもいませんでしたが、創刊当初から関わっていただいた日本禁煙科学会のサポートのおかげだと深く感謝いたします。

さて、20年前を振り返れば学校で喫煙する生徒が後を絶たない状況を何とかしたい思いで書き始めた「タバコの正体」でしたが、時代は大きく変遷し現在の学校ではタバコの煙も匂いもほぼ消えました。しかしながら、生徒の喫煙はゼロになったかと言うとそうではなく、現在でも年間数件、通学途中などで喫煙しているところを指導されています。大多数の若者はタバコに興味を持たなくなり社会全体においても喫煙率は減る一方ですが、タバコが販売されている限り喫煙者をなくす事はできないと感じています。

タバコの有害性や不利益が世間に浸透してきた現在、これからの若者には「タバコを吸い始めない」意識に加えて、「タバコは社会に必要なのか」という問題意識も持ってもらいタバコのない社会が実現できればと思っています。